

平成27年第1回箱根町行財政改革有識者会議 会議報告書

日 時	平成27年4月20日（月曜日）14:00～14:50
場 所	箱根町役場分庁舎4階 第5会議室
出席者	【箱根町行財政改革有識者会議】 田中啓座長、勝俣伸委員、佐々井力二郎委員、 杉山隆寛委員、田代恭子委員、根布眞美子委員 【箱根町】 吉田企画観光部長、勝俣総務部長、栢沼企画課長、 吉田財務課長、関田財務課副課長、村山企画課副課長、鈴木

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 座長あいさつ
- (3) 議題
 - ア 箱根町の行財政改革に関する提言について（資料1）
 - イ 平成27年度の行財政改革有識者会議の進め方について（資料2）
 - ウ その他
- (4) 閉会

2 議事の概要

- (1) 箱根町の行財政改革に関する提言について
 - 田中座長から、資料1「箱根町の行財政改革に関する提言（案）」に基づき、提言の概要を説明した後、有識者会議委員により内容の議論を行ったもの。
 - 【主な意見等】
 - 提言（案）の20ページの「3（2）今後の方向性や取り組むべき事項」の4つの指摘事項のうち、「現在の地位に安住することの弊害」について、提言の内容は有識者会議としての総意になるかと思うが、「現在はさほど努力しなくてもその地位を維持することができるように思われる」という文章は、箱根が努力しているからこそ、今のブランド力が維持できていると考えているため、この表現には少し違和感を感じる。
 - ⇒当然、箱根町は、現在も努力をしているとは思いますが、この項目で、町に対する問題提起をしていることから、やや否定的な書き方となっている。そのため、文章の流れは、これまでの努力により現在の地位を築いてきたが、今後も今の地位を維持できるとは

限らない、という内容に変更する。

⇒内容を変更するのであれば、「現在の地位に安住することの弊害」というタイトルもこのままでいいのかという問題がある。また、1段落目をもう少し内容をまとめて、次の段落につなげたほうがすっきりする。

⇒当該項目については、文章を一部修正したうえで、再度、有識者会議の各委員に意見照会することとする。

○提言（案）の20ページの「3（2）今後の方向性や取り組むべき事項」の4つの指摘事項の順番について、町の最重要課題は少子化・高齢化であることから、最初に「少子化・高齢化への対応」をもってきて、次に、「箱根町の特殊な就業構造に関する懸念」、「現在の地位に安住することの弊害」、「東京オリンピック・パラリンピックへの対応」という順番に入れ替えたほうがいいと感じる。

⇒指摘のとおり順番を入れ替えることとする。

(2) 平成27年度の行財政改革有識者会議の進め方について

事務局から、資料2「平成27年度（仮称）箱根町行財政改革アクションプランの策定スケジュール（案）」に基づき、今後の計画策定スケジュール及び有識者会議の進め方について説明を行い、平成27年9月末までの予定を確認したものの。

(3) その他

有識者会議終了後、午後3時から箱根町行財政改革推進本部との合同会議を開催したものの。